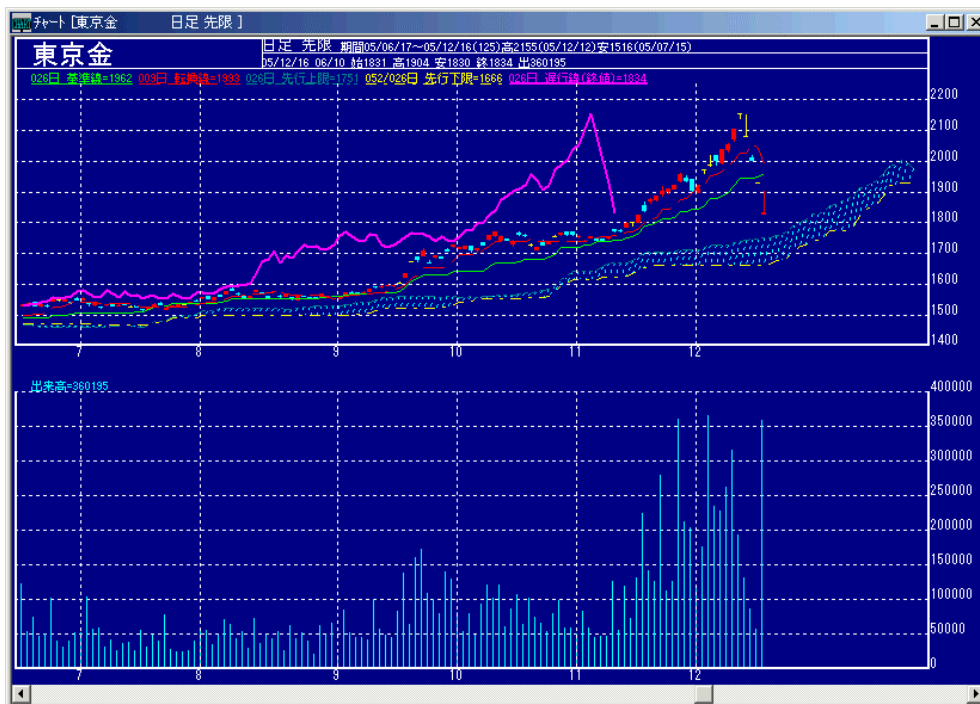


15. チャートフォーム

複数のテクニカルを組み合わせたパターンを登録して置く事が出来ますので、登録しておいたパターンを呼び出すだけで、毎回個別にテクニカル設定を行う手間が省けます。

1) フォームの設定 (テクニカル設定)

任意の銘柄を選択し、チャートを表示させてから テクニカル分析を表示して下さい。

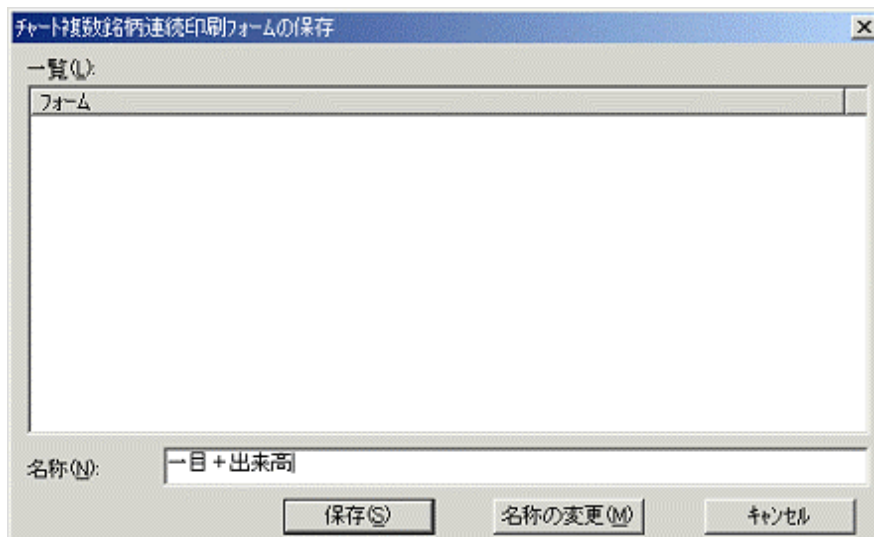


このテクニカルを表示パターンが登録出来ます。

メニューの [分析] - [フォームの保存] を選択します。

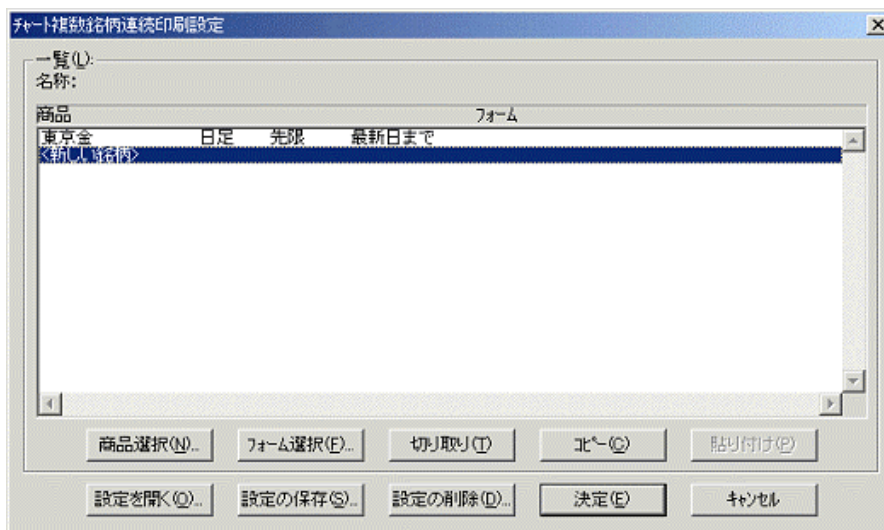
下記画面が表示され、パターンの名称 (任意の名称) を付け、「保存」をクリックしてください。

下記例では、1パターンしか登録していませんが、複数のパターンを登録する事が出来ます。



2) 登録フォームを利用したのチャート印刷

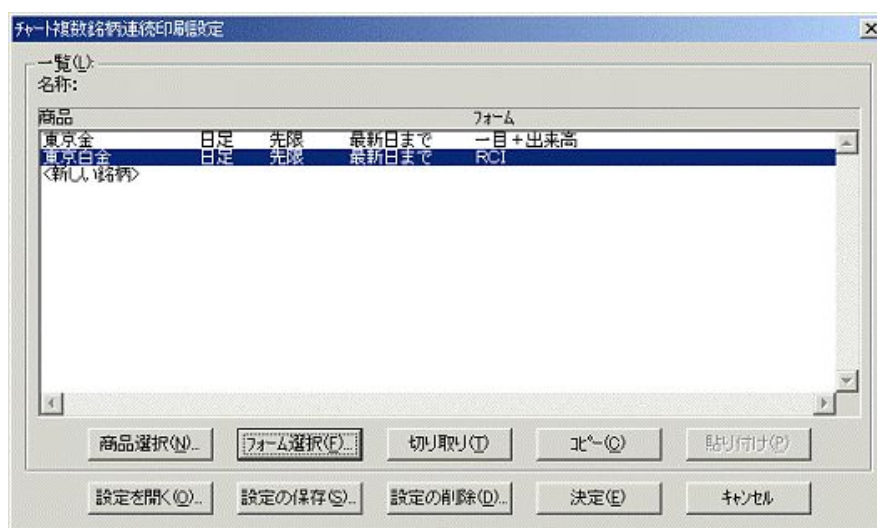
任意の銘柄を選択し、チャートを表示させてから、メニューの [設定] - [複数銘柄連続印刷設定] - [複数銘柄設定] を選択します。すると、下記画面が表示され銘柄毎のフォーム（テクニカル）設定の行えます。



[商品選択] ボタンをクリックすると銘柄の一覧が表示されます。そこから銘柄を選択すると追加されます。そこから設定を選択すると、フォームの欄に選択された設定が表示されます。ただしこの時、上の画面のように<新しい銘柄>を選択してから行ってください。（<新しい銘柄>を選択しないで『商品選択』を選択すると追加はされません）

[フォーム選択] ボタンをクリックすると、先ほど登録したフォームの一覧が表示され、印刷したいテクニカル設定を銘柄ごとに選択することが出来ます。

次の画面では、東京金は[一目+出来高]、東京白金は[RCI]で印刷するように設定しています。



[切り取り]・[コピー]・[貼り付け]

銘柄を選択し、『切り取り』ボタンをクリックするとその銘柄を切り取ります。『貼り付け』ボタンで戻す

ことも可能です。これにより、印刷する順番を変更することが出来ます。また、『コピー』ボタンをクリックするとその銘柄をコピーします。『貼り付け』ボタンで貼り付けられます。これにより一つの銘柄をいろいろなテクニカル分析をして印刷することが出来ます。

[設定の保存]

選択した銘柄・テクニカルを保存することが出来ます。『設定の保存』ボタンをクリックした後、名称を入力して下さい。いつも印刷する銘柄が決まっていれば毎回銘柄を選んだりテクニカルを選んだりして設定を決めるのは大変なのであらかじめパターンを登録することが出来ます。

[設定を開く]

登録している設定があればこのボタンをクリックすると表示され、開くことが出来ます。

[設定の削除]

登録されている設定を削除する事が出来ます。

[キャンセル]

印刷を辞める時には[キャンセル]ボタンをクリックして下さい。

[キャンセル]ボタンをクリックすると[チャート複数銘柄連続印刷設定]のウィンドウが閉じます。

[決定]

印刷の設定が決まったら『決定』ボタンをクリックして下さい。

この時、印刷の設定を保存していなければ次のようなメッセージが出ます。設定を保存する場合には「いいえ」を選択して「設定の保存」をクリックして下さい。保存しない場合には「はい」をクリックして下さい。

『印刷』 - 『印刷のプレビュー』で確認することが出来ます。

【プレビュー画面例】

